

2023 年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト

地域の課題解決 支援内容説明会・相談会 開催レポート

2023 年 8 月 1 日

認定 NPO 法人サービスグラント

1. はじめに

町会・自治会は地域住民の互助のシステムとして中核的な役割を担っていますが、同時に高齢化や加入率の低下等様々な問題を抱えていると言われています。一方で、「いろんな世代が集えるような場づくりに取り組みたい」、「新しく引っ越してきた人も気軽に関わられるようなまちにしたい」など、顔の見える繋がりづくりや、幅広い住民の関わるまちづくりに取り組む町会・自治会もあります。

地域の課題解決に向けて積極的にチャレンジを行う町会・自治会を対象に、仕事の経験やスキルを活かした社会貢献活動「プロボノ」で会の活動基盤強化を支援する『2023 年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト』の実施にあたり、支援内容説明会・相談会を実施しました。

支援内容の説明に加え、自団体の課題の棚卸しと整理を行う「課題整理ワークショップ」または過去支援先の事例紹介を同時開催し、支援の具体的なイメージをお持ちいただくことで 2023 年度の支援申込につなぐことを目指しました。

また、オンライン開催にあたっては、事前に遠隔ビデオ会議ツール「Zoom (ズーム)」の使用方法に関する Zoom 勉強会を実施し、オンライン会議に不安のある参加者が接続操作の事前確認ができる場を設けました。

2. 実施概要

○開催日時と開催場所

- ・第1回 2023年 5月27日(土) 14:00-16:30 (13:45開場)
会場：東京都立産業貿易センター台東館 2階会議室 (台東区花川戸2-6-5)
定員：15団体 (1団体あたり2名まで)
- ・第2回 2023年 6月14日(水) 14:00-16:30 (13:45開場)
会場：ワイム貸会議室立川 (立川市曙町1-15-1)
定員：20団体 (1団体あたり2名まで)
- ・第3回 2023年 7月5日(水) 14:00-16:30 (13:45開場)
会場：新宿NSビル 3階 3-G会議室 (新宿区西新宿2-4-1)
定員：30団体 (1団体あたり2名まで)
※第3回のみオンライン参加も可能

<事前Zoom勉強会>

- ・2023年6月30日(金) 14:00-15:00

※オンライン (Zoom) 開催にて接続確認を実施

○開催スケジュールとプログラム内容

内容	時間
1. 本日の流れ、開会挨拶	5分
2. 地域の課題解決プロボノプロジェクトの紹介 ・プロボノとは、過去支援実績 ・2023年度支援内容（実践講座、個別支援） ・質疑応答	40分
3. 事例紹介 ・過去支援先より各会場1～2団体のゲストトーク ・ゲストへの質疑応答	45分
4. 中締め、休憩	10分
5. 相談会 ※任意参加 ・自団体の課題整理、参加者同士での共有 ・個別質問の受付	50分
計	150分

○事前の告知方法

- ・区市町村担当窓口を通じたチラシ配布
- ・サービスグラントを通じた過去イベント申込者宛のメール配信

○応募の受付方法

- ・サービスグラント宛に所定の申込用紙をメール、FAX、またはフォームにて申し込み

3. 参加人数

	説明会		相談会	
	団体	人数	団体	人数
5月27日（土）台東会場	8	8	4	4
6月14日（水）立川会場	14	19	8	13
7月5日（水）新宿会場	17	20	10	12
7月5日（水）オンライン	17	20	5	6
合計	56	67	27	35
	事前 Zoom 勉強会			
	団体	人数		
6月30日（金）	2	2		
合計	2	2		

4. 当日の流れ

○地域の課題解決プロボノプロジェクトの紹介

プロボノの語源から本プロジェクトの概要、支援内容、支援申し込みの流れまでを参加町会の皆様に説明しました。

【写真】地域の課題解決プロボノプロジェクトについての説明

・会場開催

(台東会場)



(立川会場)



(新宿会場)



・オンライン開催

実践講座参加を通じた成果イメージ



情報発信手段を確保したい

- 紙媒体以外の方法を活用したい
- リアルタイムの情報を共有したい





①ホームページ作成

- ✓ 無料ホームページ作成ツール「Wix」での立ち上げをサポート
- ✓ 文章や画像を収集・整理して記事の内容をまとめる
- ✓ 運用方法を体得する

【講座回数】全3回

②LINE活用

- ✓ 団体として活用できる機能の共有
- ✓ 効果的な活用策を検討
- ✓ 運用方法を体得する

2023年度 新設
【講座回数】全3回

③情報発信の課題整理

- ✓ 情報発信の目的・対象者を整理
- ✓ 今後の情報発信方法を検討する

(制作作業は含まれません)
2023年度 新設
【講座回数】1回完結

大量の情報を整理・蓄積しながらインターネット上に掲載するプラットフォーム

最新の情報をリアルタイムで届けるコミュニケーションツール



○プロボノ活用事例紹介

過年度の「地域の課題解決プロボノプロジェクト」においてプロボノによる支援を活用した経験のある団体の代表者をゲストにお呼びして、プロジェクトの様子やそこから得たもの、現在の活動に与えた変化などを伺いました。

ゲスト

①台東会場

金森三丁目町内会（町田市）代表 小林 亮 氏：2022 年度個別支援参加

緑町第四町会（小金井市）＆八丁堀三丁目西町会（中央区）：2021 年度実践講座参加（ホームページ）※2021 年度成果報告会時の映像を使用

②立川会場

光ヶ丘自治会（小平市）会長 本田 祐吉 氏：2022 年度実践講座参加（ホームページ）

公団住宅むつみ台団地自治会：2021 年度個別支援参加（映像）※2021 年度成果報告会時の映像を使用

③新宿会場・オンライン

築地町自治会（中央区）代表 唐木 重典 氏：2021 年度個別支援参加

緑町第四町会（小金井市）＆八丁堀三丁目西町会（中央区）：2021 年度実践講座参加（ホームページ）※2021 年度成果報告会時の映像を使用

【写真】 ゲストトークの様子



○相談会（課題整理ワークショップ）

目的や進め方を説明したのち、ファシリテーターの案内のもと、町会・自治会の皆さまが運営に関する課題を挙げ整理しました。

・課題整理ワークショップの目的

団体が抱える課題の中にはプロボノによる支援が適切なものやそうでないものがあります。また、様々な課題を抱える中で課題解決の優先順位を団体がつけにくい場合があります。そのため、プロボノの支援を受ける前に、支援に関心のある団体を対象にワークショップを行いました。

プロボノによる支援が可能な自団体の課題は何か検討することで、プロボノによる支援を受ける準備を整えることが本ワークショップの目的です。

・課題整理ワークショップの全体構成

ワーク① 組織課題の棚卸・整理

ステップ1 課題の棚卸

ステップ2 中長期的な目標の設定

ステップ3 課題の整理

ワーク② 組織課題の解決策の検討

ステップ4 「重要度が高い」課題の解決策の考案

ステップ5 「重要度が高い」課題の解決策の分類

ステップ6 結果の共有

・ワークショップの内容

課題整理ワークショップでは、ワークシートを使用します。ワークシートは団体ごとに事前に準備しました。団体として困っていることや解決したいことなどの課題をワークシートに記入します。こうすることにより、漠然としていた課題や、日々の業務によって忙殺されていた悩みが整理・棚卸されるとともに、課題が可視化されることによって、解決策の検討に進むことができます。

次に、団体の「こんな町会・自治会の姿がよいのではないか」という中長期的な目標を箇条書きで記入します。具体的な目標を記入することにより、多くの課題の中から闇雲に取り組むのではなく、どの課題解決から着手する必要があるか、緊急度と重要度の四象限の中で優先順位を検討することができます。また、重要度の高い課題について「それぞれに、どのような解決策が考えられるか」「全体として、どのような解決策が有効と考えられるか」を、書き出しました。

さらに、書き出した課題の解決策について「自前で解決できること」「自前では解決できないけど、「お金」があれば解決できること」「自前では解決できないけど、「スキル」があれば解決できること」に分類しました。分類ごとに色分けしたシールを貼ることで、重要度の高い課題とその解決策、解決にあたって必要となるリソースやプロボノ活用の可能性が明確になりました。

【会場版ワークシート】

① 付属貼り付け用紙	② 中長期目標と課題整理						
団体名 お名前	団体名 お名前 中長期的な目標 ● ● ● <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">重要度：高</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">緊急度：低</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">緊急度：高</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">重要度：低</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>	重要度：高		緊急度：低	緊急度：高	重要度：低	
重要度：高							
緊急度：低	緊急度：高						
重要度：低							

【オンライン版ワークシート】

※A4サイズで印刷し、お手帳などに貼ってください。

団体・自治体名 ()

ワークシート2

【管理番号】 地区番号	解決策	経過の 分類	備考
001-2	高齢者福祉の推進を目的とした高齢者に適したイベントの開催		

※A4サイズで印刷し、お手帳などに貼ってください。 ※印刷の都合により、一部の文字が省略されています。

地区・自治体名 ()

ワークシート1

1. この調査の目的・内容等、その結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。また、調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

2. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

3. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

4. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

5. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

6. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

7. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

8. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

9. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

10. 調査の実施方法、調査結果の活用方法等、関係者として必要な事項について、あらかじめ協議・調整がなされているか。

【写真】 課題整理ワークショップの様子



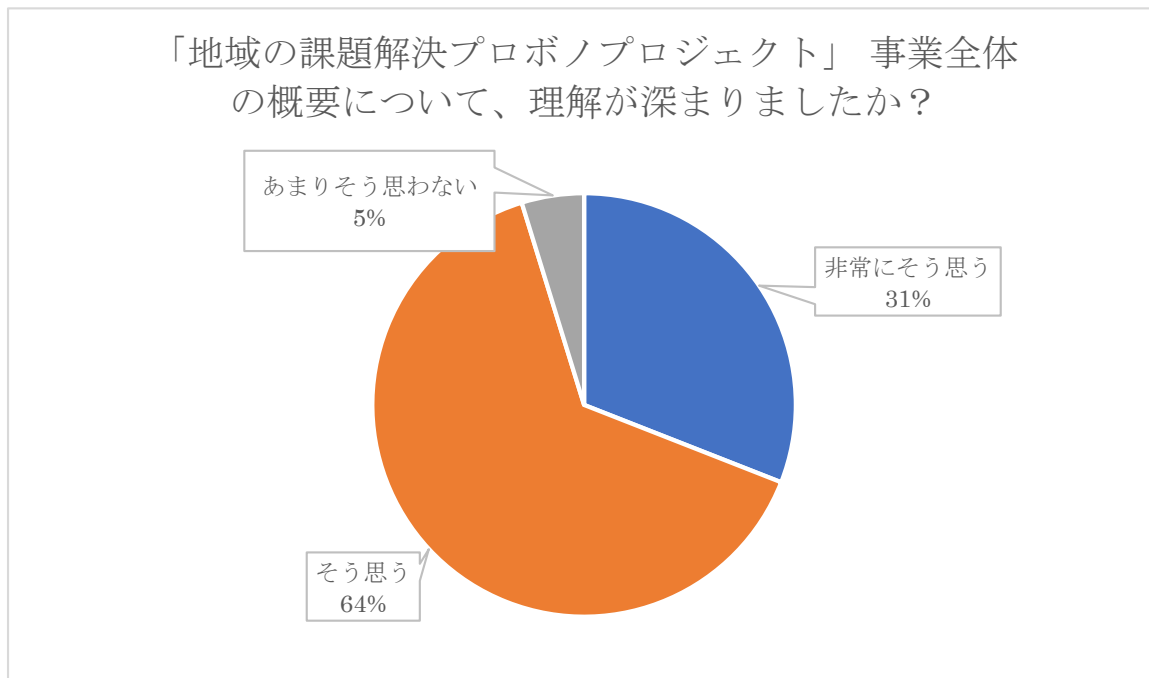
5. 参加者アンケート

○件数

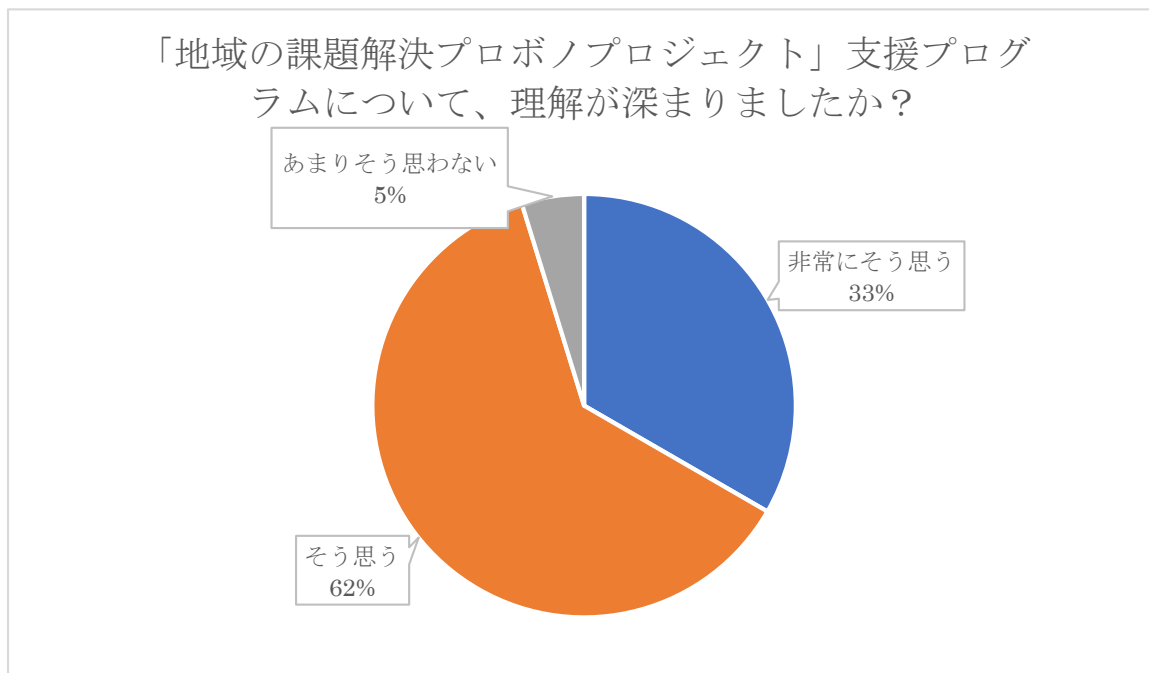
回答数 42 名（回収率 62.7%）

○結果

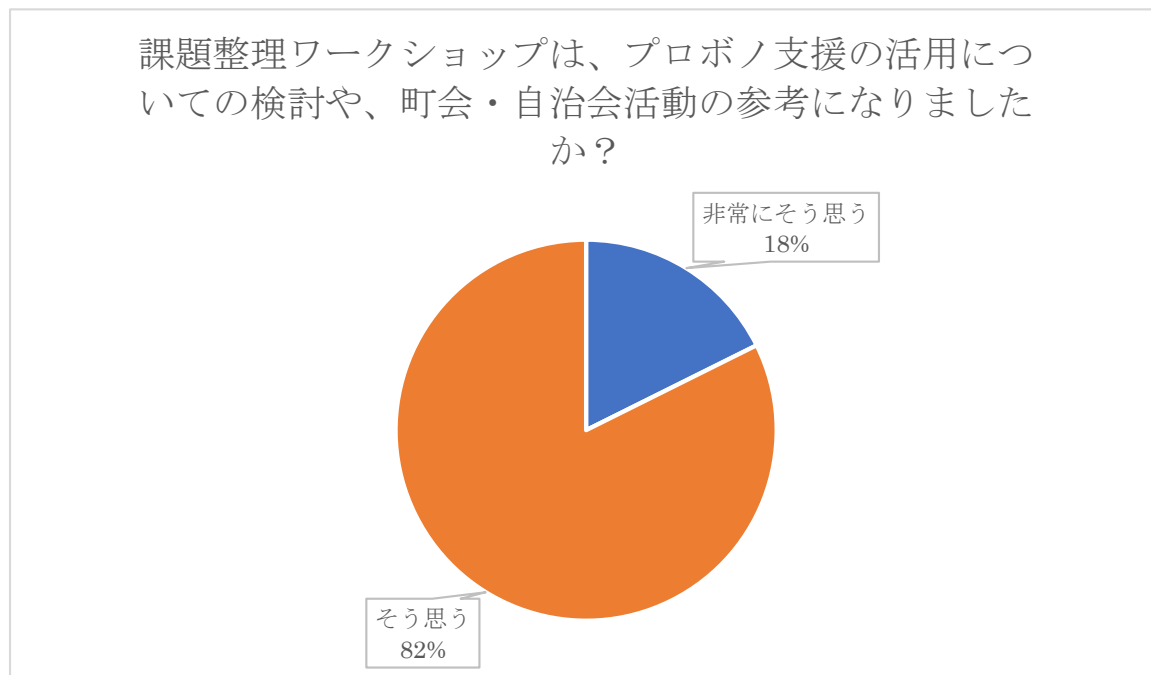
Q: 「事業全体の概要」について理解が深まりましたか？



Q: 「支援プログラム」について理解が深まりましたか？



Q: (相談会参加者のみ) 課題整理ワークショップは、プロボノ支援の活用についての検討や、町会・自治会活動の参考になりましたか？



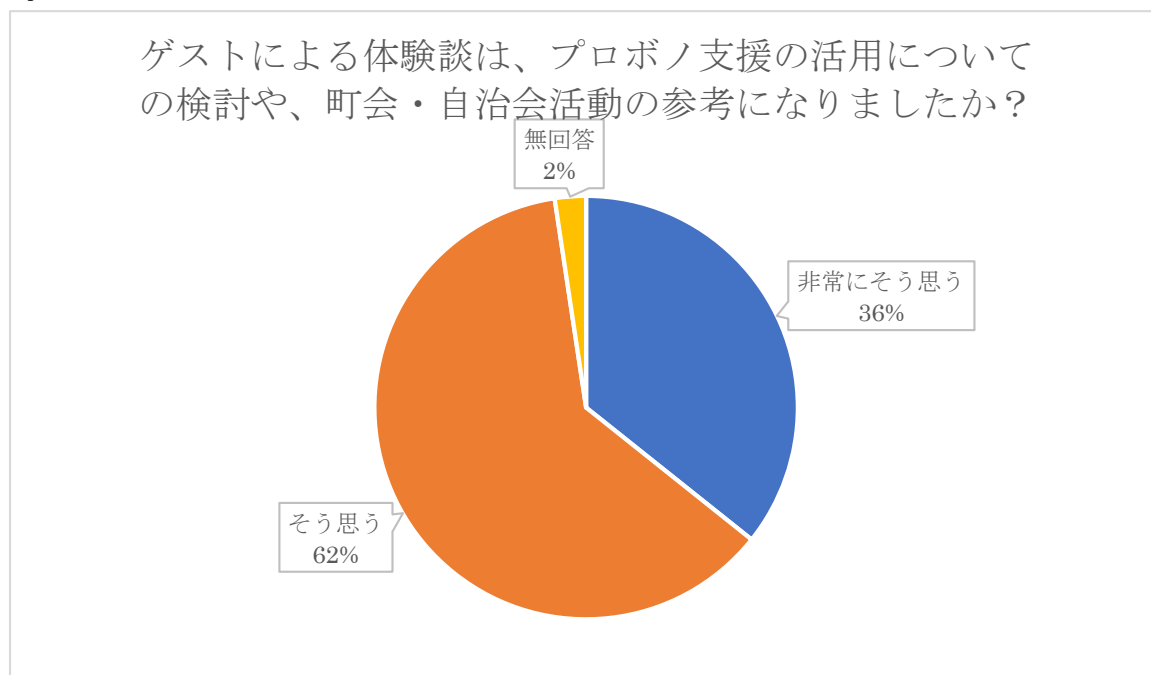
Q: (相談会参加者のみ) 今回の課題整理ワークショップを通じて、新しい発見やあらためて気づいたこと・確認できたことなどは何かありましたか？

- ・ プロボノスタッフの具体的スキルが不明である。
- ・ 第三者の目を入れることの重要性。
- ・ デジタル化に対応指導できる方を会員を探し、活動指導してくれる方を見つけたい
- ・ あきらめずに進めることが大切と感じました。

Q: (相談会参加者のみ) 今回の課題整理ワークショップを通じて、特にプロボノのような外部の力を活用して解決したいと思ったことは何かありましたか？自由にご記入ください。

- ・ LINE・アンケート

Q: ゲストによる体験談は、プロボノ支援の活用についての検討や、町会・自治会活動の参考になりましたか？



Q: ゲストによる体験談をお聞きになって、新しい発見やあらためて気づいたこと・確認できたことなどは何かありましたか？ 自由にご記入ください。

(台東会場)

- ・ ホームページ・SNS の必要性を感じました。

(立川会場)

- ・ 参考になりました
- ・ 老人が多い自治会で HP を見てもらう工夫は参考になります。
- ・ スマホを町会活動に上手に組み込んでいच्छること非常に感銘を受けましたし、イメージが湧きました。
- ・ 自治会、町会ごとの特殊性（団地中心か従来型の町内会か、他人者世帯が多いかどうか）ごとに課題が異なっていること。
- ・ HP のあり方について、参考になりました。
- ・ 特段の発見はないが、当自治会固有の問題点、防犯・防災対応が急務であることを再度ブロック委員など検討を加えたいと考えます。
- ・ 抱えている課題がどこの町会・自治会も一緒（IT 化、なり手不足など）
- ・ まず「やりたいこと」があって、そのうえで支援をお願いするというスタンスで、今後必要な場合支援していただければと思います。
- ・ 少子高齢化の実際等をあらためて実感しました

(新宿会場・オンライン)

- ・ 町会のあり方を再考する良い機会であるのだなあと理解できた。
- ・ 役員のみでこだわらず、町会全体のムーブメントを創出する層（青年会？）の形成が必要と感じました。
- ・ 町会という古い組織の慣習的に動いているもの、属人化を変えるのに役に立つことがわかった。
- ・ どのゲストの方も素晴らしい活動家の方で勉強になりました

- ・ デジタル化が必要と思うが、PC・PAD が使用できない町会会員に対してどのように情報発信してるのか知りたかった。
- ・ マンション住民と住宅地住民との連携に、HP 作成作業参加過程が有効だったとの体験談が参考になりました。
- ・ 祭事や新規入会の促進などで、前向きな活動を支援することが多い印象でした。
- ・ 自治会活動の関心や、参加をしやすい環境づくりにする見直しをしたい
- ・ 自分たちの自治会でもマンネリ化を克服して新しいことに挑戦していきたい。
- ・ 当町会の現状認識を改めて考えていきます。
- ・ 問題点が少し整理できた
- ・ 事業の見える化、新規参加者拡大
- ・ 今、抱えている問題は、皆同じなのだと実感しました
- ・ 「気づき」「アイデア」「きっかけ」というキーワードをいただきました。役員だけの活動にしないということが「みそ」ですか…プロジェクトという発想が大切なのかもしれませんね。

Q: ゲストによる体験談をお聞きになって、特にプロボノのような外部の力を活用して解決したいと思ったことは何かありましたか？ 自由にご記入ください。

(台東会場)

- ・ 後程 HP などに接触して見てから検討したい。興味があるものはあった。
- ・ LINE で広報したい
- ・ LINE とアンケート

(立川会場)

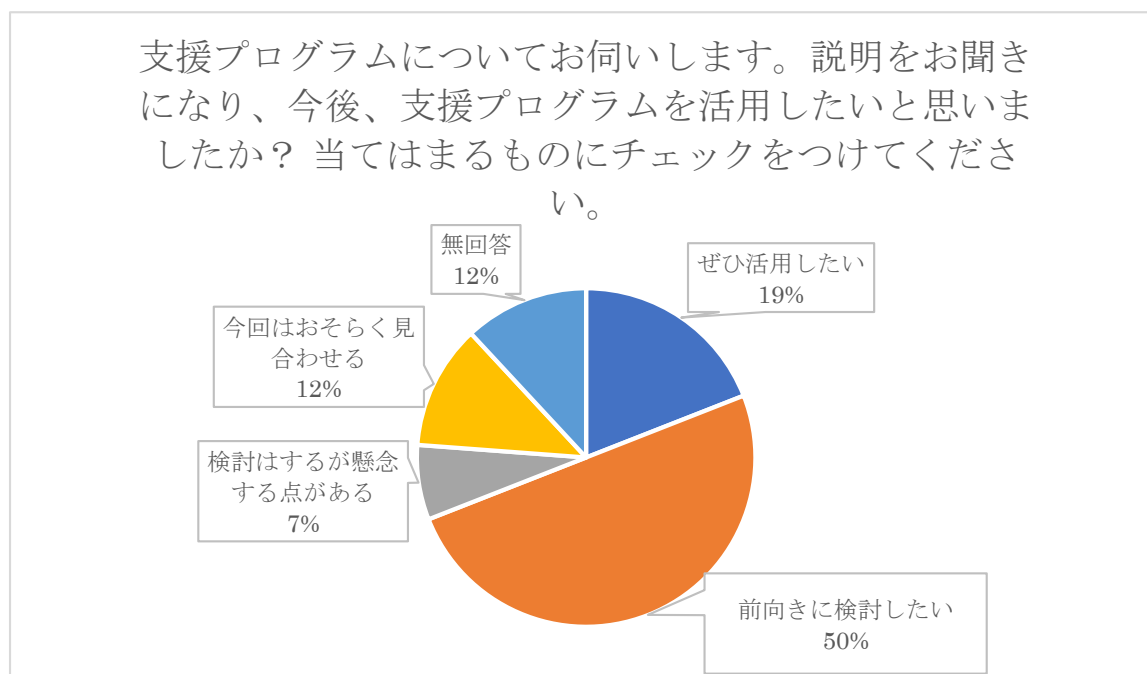
- ・ 災害対応体制確立
- ・ これから具体化に頭をまわしてみます。
- ・ HP の作成も必要と思ったが、SNS (LINE) の活用をしていきたいと感じた。
- ・ 当自治会内の意見はその後検討したい
- ・ 各町会・自治会の HP 作成、各町会・自治会の回覧板の電子化、防災力向上
- ・ 自治会 HP の立ち上げ

(新宿会場・オンライン)

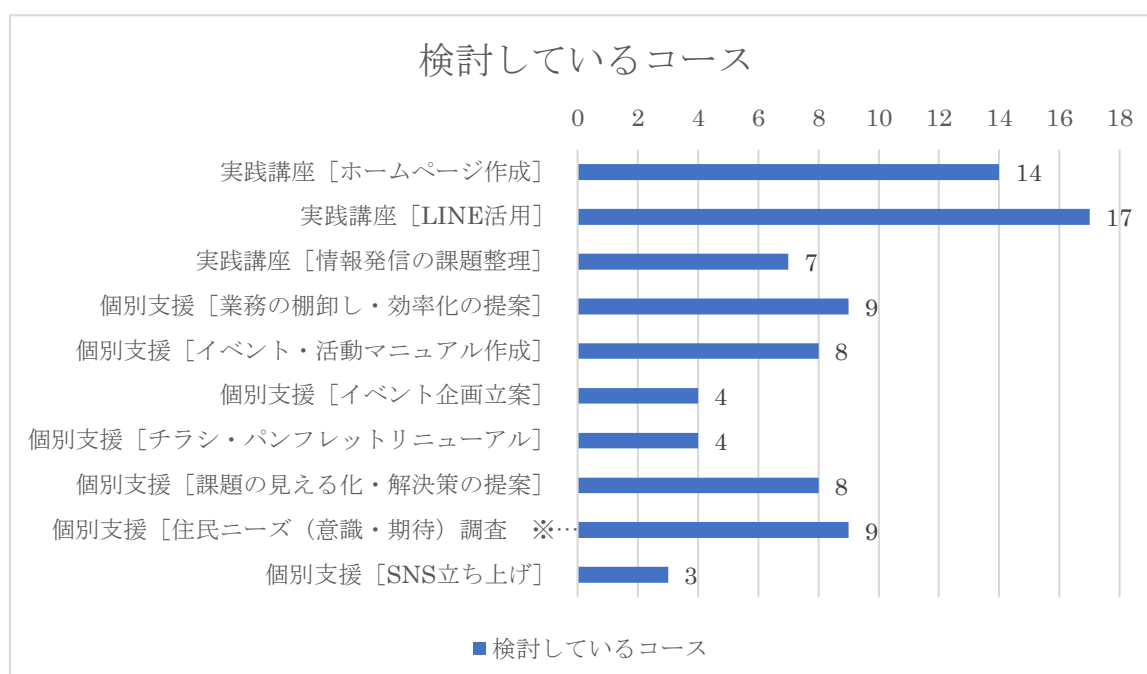
- ・ 町会活動の明確化
- ・ 役員の意識改革に役に立てたい
- ・ 当自治会は非常に高齢化が進み、このような変革を取り入れたいのですが、その段階で不安、脱線しそうです。
- ・ 運営の改善化、情報発信の迅速化
- ・ 私のいる自治会では、構成員が高齢化し、残りの余生を静かに過ごしたいと思う住民が多いです。よって、自治会の活動としては極力少なくする意向が強いのですが、結果として、必要な連絡や通知などの情報共有にも支障をきたしかねない状況でもあり、課題になると思われますので、情報発信の方法を工夫し、よりハードルの低い、アクセスのしやすい情報発信の体制をつくりたいと思っています。
- ・ 防災、ネット構築
- ・ 高年齢化しているので若い人の意見を取り入れていきたい。
- ・ 運営体制(構成)について各町会の内容がそれぞれである事。役員のみでの運営(当町会は約 18 名)で、それ以外は「参加者・一般」での形であり、これの見直しを考えたい。

- ・ 現在包括センターや社教を巻き込んでの活動をしています。また、市防災課と地域福祉課との話し合いを持って、災害時の対応も話し合いました。2年前には地域の底力助成金を利用して、フレイル体操教室を実施。関東大震災の助成金も申請準備しております。
- ・ 外部の力を借りて気づけなかったことが明確になるようでよかった
- ・ 外部の方からどう見えるのか、客観的に判断してほしいと思いました。見える化することで問題がつかめ、解決の道筋ができてくると思いました。課題と着眼点、自分たちでつかんでいきたいと思いました。

Q: 説明をお聞きになり、プロボノ支援を活用したいと思いましたか？



Q: 「ぜひ活用したい」「前向きに検討したい」を選んだ方に伺います。検討されているコースはどちらでしょうか？（複数回答可）



Q: 「検討はするが懸念する点がある」「今回はおそらく見合わせる」を選んだ方に伺います。その内容や理由をお聞かせください。

- ・ スキルなし協力を要する
- ・ セキュリティー面（HP、LINE）特に営業に利用される懸念がある。
- ・ 担当者が現時点ではない（持ち帰って、検討する）
- ・ 自治会役員のコンセンサスを得る時間が現時点では厳しい
- ・ 役員のコンセンサスを取るのに苦労しそう
- ・ 今回の発表からいただけるものは参考にさせていただきます。自治会としての協力準備が整っていないので、今日の内容を発表してゆきます。
- ・ 実践講座・LINE 活用、仕組み・運用の負担、高齢者主体の自治会で持続可能な体制をとれるか不安あり。
- ・ まだまだその前段階の途中と思います
- ・ 高齢者が多く、PC などを持っていなかったり、活用していないのが現状です。期待はずれの内容でした。
- ・ 情報発信はすでに講座の内容分は進んでいる。個別支援はお願いすべき課題の絞り込みが間に合わない（お祭りがあってぐちゃぐちゃに間に合わない）
- ・ 役員の半数がプロボノ的、半数は関わりにくいのでうまく折り合えるか。
- ・ まだ役員会で報告していないので…（7月8日に開催）

Q: その他、現在、関心をお持ちの支援内容があればご記入ください。

- ・ 高齢者の支援の仕方に関心あり
- ・ 賃貸マンションと町会・自治会の関係
- ・ 公式 LINE
- ・ SNS
- ・ HP は自分のを作成してありますが、その後の活用ができないパソコン5年生です
- ・ 新たなイベントの作成
- ・ 特に町会費のオンライン決済の取入れを検討していますが、実現している町会や自治会がありましたら、実際の登録方法についてアドバイスいただきたいです。
- ・ 現在老人会の会長も兼務しているのでそちらにもいろいろと活用していきたい。
- ・ マンション世帯の加入促進、運営の若返り
- ・ HP（既存）内に新しく項目を作りたい。（ex. 自治会館予約フォームなど）自治会館の予約を HP 上で簡単にできるようにしたい。
- ・ 防災（避難所運営）での町会間連携：今、専門家として苦労しています

○本事業について質問や相談事項、ご意見やコメント等（アンケートより一部抜粋）

- ・ 勉強して前向きに考えていきたいと思っております
- ・ 大変有意義と感じた
- ・ 7年前から実施されていたそうですが、自分たちまで情報が一度も入ってこなかったのが残念でした。
- ・ 会費徴収を現在は現金で個別に行っているが、できるものなら町民から自主的にネットなどで入金し

てもらえるとありがたい（私は会計担当でないため関係することはできないと思うが…）

以上